

今年度から新たに始まる がん検診・検査のお知らせ

平成30年度から、胃内視鏡を使った胃がん検診と子宮頸がんの原因といわれるウイルスの感染を自分で調べる検査ができるようになりました。この機会に検診を受けましょう。



胃内視鏡検診で胃がん死亡率が減少

平成28年、厚生労働省では市町村が行う胃がん検診において、従来のバリウム検査だけでなく、胃内視鏡（胃力

メラ）検査も推奨することになりました。これは近年の研究で、胃内視鏡検査により胃がんの死亡率が減少すると科学的に証明されたためです。

この指針に基づき、小樽市でも、胃内視鏡検査による胃

がん検診を導入するため、「小樽市胃内視鏡検診運営委員会」を設置し、検査を行う体制づくりを行ってきました。市で導入する胃内視鏡検査については、左の囲みをご覧ください。

胃がんは日本人が最も多くかかり、早期の段階では自覚症状がないことの多いがんです。早期に発見し治療すれば、ほぼ完治できるにもかかわらず、がんによる死亡者のうち、胃がんでの死者数は男性で第2位、女性で第4位となっています。国、道および市では、胃がん検診受診率の目標を50%としていますが、小樽市における28年度の胃がん検診受診率はわずか6・3%ととても低い状況です。

胃がんは日本人が最も多くかかり、早期の段階では自覚症状がないことの多いがんです。

胃がんは日本人が最も多くかかり、早期の段階では自覚症状がないことの多いがんです。

胃がんは日本人が最も多くかかり、早期の段階では自覚症状がないことの多いがんです。

胃がんは日本人が最も多くかかり、早期の段階では自覚症状がないことの多いがんです。

胃内視鏡検査による胃がん検診

バリウム検査と胃内視鏡検査の違い

バリウム検査は造影剤のバリウムを飲んで胃粘膜に付着させ、レントゲン撮影をし、医師が撮影画像を見て粘膜の形状などから診断をする検査です。胃内視鏡検査は、カメラの付いた細長い管を口から（経口）、または鼻から（経鼻）挿入し、直接、胃の粘膜を観察する方法で、ごく初期のがんも発見することができます。

対象者

受診日に50歳以上で、かつ30年度に偶数年齢になる方

料金

3000円

※70歳以上の方、生活保護受給世帯の方、市民税非課税世帯の方は無料です。

受診間隔

2年に1回

申し込み方法

下記指定医療機関に直接お申し込みください。

胃がん検診で胃内視鏡検診ができる委託医療機関		
名称	検査方法	電話番号
いそがい内科クリニック	経口	⑤5888
大橋内科胃腸科クリニック	経口	②7089
小野内科医院	経口・経鼻	②5792
済生会小樽病院	経口・経鼻	⑤4321
小樽掖済会病院	経口・経鼻	④0325
小樽協会病院	経口・経鼻	③6234
小樽市立病院	経口・経鼻	⑤1211
札幌病院	経口・経鼻	⑥5851
せのた内科クリニック	経口	⑦7171
高橋医院	経口・経鼻	⑥4131
なつ胃腸科内科クリニック	経口・経鼻	③3131
東小樽病院	経口	⑤47111

※バリウム検査による胃がん検診は従来通り40歳以上を対象とし、1年に一回受診できます（自己負担1000円）。

※同じ年度内に胃内視鏡検査とバリウム検査の両方を受けることはできません。

子宮頸がん自己検査受診事業を実施します

「子宮頸がん自己検査」は、子宮頸がんの原因といわれているHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染を自分で調べる検査です。自己採取検査用具を使い、自身で細胞を採取します。子宮頸がん検診の受診に抵抗がある方や、仕事や育児などで時間の都合が付かず、検診が受けられない方にお勧めです。

HPVはごくありふれたウイルスで、

主に性行為により感染します。性行為のある方の80%の女性が生涯に一度は感染すると言われており、大部分は免疫機能により自然に排除されますが、ごくまれに排除されず感染が長く持続した場合に子宮頸がんを引き起こすことがあります。

子宮頸がんは20～30歳代の女性にとっても増えています。対象となる方は、ぜひご利用ください。

【子宮頸がん自己検査】

対象者 子宮頸がん検診が無料となるクーポン券を送付した方のうち、平成30年度に25歳・30歳・35歳になる方で、クーポン券を利用していない方
料金 無料

※対象の方には、個別に案内を送付します。

☒詳細 保健所健康増進課 ☎③110、☎②1469